

令和 6 年度スポーツ推進事業計画（案）について（意見聴取資料）

【令和 6 年度事業の方向性】

- スポーツや運動に親しむきっかけづくりや働きかけを行うことにより、市民の運動習慣の普及・定着やスポーツ活動の活性化を図ります。
- 競技スポーツの振興に向け、全国や世界で活躍する選手の輩出を目指すとともに、ジュニアを中心に底辺の拡大を図ります。
- 中学生の休日におけるスポーツ・文化活動を地域団体等で実施するため、受け皿整備を推進するとともに、地域スポーツクラブや競技団体などの指導体制の拡充を図ります。
- スポーツ施設の適正な維持管理に努めるとともに、計画的な整備・改修などを行い、施設利用者が安全・安心にスポーツを楽しめる環境を提供します。

【具体的な取り組み】

（１）スポーツや運動の目標となる生涯スポーツ大会等の開催

- ①各種生涯スポーツ大会の開催

（２）総合型地域スポーツクラブでの教室開催と日常的なスポーツや運動の普及

- ①スポーツや運動のきっかけとなる各種スポーツ教室の開催
 - ・総合型地域スポーツクラブとの連携
- ②継続的なスポーツ活動となるジュニアスポーツクラブの開講
 - ・e スポーツ教室やスケートボード教室の開講
- ③ウォーキングやランニングの普及による運動習慣の定着
 - ・「にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業」（県事業）を活用したウォーキングやランニングの普及、推進
 - ・「市内事業所、地域対抗 Wow king ランキング」の開催
 - ・ウォーキング教室及びウォーキングイベントの充実

（３）スポーツや運動を普及させるための環境の充実

- ①中学生の休日におけるスポーツ・文化活動の地域での受け皿体制の整備
 - ・中学生、学校、地域団体間のコーディネートと段階的な活動の実施
- ②ジュニアスポーツクラブ等における指導者の育成
 - ・地域指導者の育成と資質の確保
 - ・指導者研修会の開催
 - ・指導資格取得の支援

（４）障がい者スポーツに対する理解の醸成

- ・「ボッチャ」の普及、体験会や交流大会の開催

（５）ジュニア競技スキーにおけるアスリートの強化育成と指導体制の確保

- ①少子化に対応したジュニア選手の育成と指導体制の安定化
 - ・「ジュニアスキー育成補助金」による支援、「アスリート強化育成事業」の実施 など
- ②少子化や多様化に対応したジュニアスキーの普及・振興（ジュニア層における底辺拡大）
 - ・関係団体と連携したスキー・スノーボードの普及拡大
- ③ジュニア選手等の競技力向上に繋がる大会の開催及び支援
 - ・妙高サマージャンプ大会の開催
 - ・国体冬季スキー競技会県予選会の開催
 - ・信越学童親善スキー大会の開催

（裏面へ）

- ・ Mt. Myoko ジュニア GSL 大会の開催支援
- ・ ジュニアサマージャンプ大会の開催支援
- ・ 妙高スピードクロスカントリースキー競技会の開催支援
- ・ 全日本スキー連盟 B 級ジャイアントスラローム大会の開催支援

（６）利用者が安全に安心してスポーツや運動を楽しめる環境の提供

①スポーツ施設の計画的な整備、改修等の実施（調整中）

- ・ 適切な維持管理と計画的な整備の実施
 - ・ 照明設備のＬＥＤ化工事（新井総合公園野球場、杉野沢トレーニングセンター）
 - ・ 高圧受電設備改修工事（妙高ふれあいパーク）
 - ・ 体育館製氷機購入 など

（７）その他

①合宿受け入れ環境の整備

- ・ 令和３年度から合宿誘致に係る業務は観光商工課に移管し、交流人口拡大に向けた誘致や誘客の取り組みと一体的に合宿誘致活動を進めている。
- ・ 当課は指定管理者と連携し、受け入れ環境の要素のひとつであるスポーツ施設の適正な維持、管理に努めるとともに、計画的な改修や整備等、環境の充実を図る。